

6月26日：7月はベトナム株にとって試練の月か

7月は世界的な株式市場の不透明さと第二四半期決算が重しとなり株式市場は売り圧力が高まると予想される。

VN指数は4か月ぶりの高値である900ポイントまで上昇してから2週連続の下落となった。

同指数は3年ぶりの安値であった660ポイントから36.36%上昇した。しかし、直近2週間で高値からは5.33%下落した。

米国株ではSP500指数とダウ平均指数はそれぞれ高値から6.91%、9.27%下落していた。

米越どちらの市場でも個人投資家が相場を押し上げていた。

ベトナム株と米国株の動きは大きく連動しており、米国市場主導の動きになっていることが見て取れる。

先週、VN指数は1.91%下落し851.98ポイントで取引を終えた。

サイゴンハノイ証券によると、新型コロナ第二波と経済活動の再開への懸念から米国株が下落しベトナム株は下落圧力を受けた。

新型コロナの感染者数は1000万を超え死者数は50万人を超えた。

新型コロナの感染拡大以外にも、投資家は米中の貿易摩擦についての問題が投資家心理を悪化させた。

そのような問題からIMFやFRBは悲観的な経済見通しを出している。

米国株からのインパクト以外では、ベトナム株は会社からの情報が限られてくる。株主総会も終わり第二四半期決算へと注目が移っていくようだ。

ビナミルク (VNM)、ホアファットグループ (HPG)、ベトコムバンク (VCB)、HDBバンク (HDB)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、ペトロリメック

ス (PLX) 、テクコムバンク (TCB) 、VP バンク (VPB) などのいくつかの大型株は第二四半期の見通しを発表している。

それらの企業は良い兆候を出しているが、年度の決算についてはそれほど楽観的ではないというのが現状である。

第二四半期の決算が7月に始まるため、投資家のパフォーマンスも二分されるとサコムバンク証券は語った。

投資家は今後は簡単に利益を得ることはできない。より慎重に、個々の決断が重要となると同社は語った。

VN 指数は7月に横ばいで動くと思われる。900 ポイントを超えるのは難しいだろうとメイバンクキムエン証券は予想した。

今週は VN 指数は 840-870 ポイントで取引されるだろうと予想した。

バオベト証券は調整を警戒し、780-820 ポイントまで下落する可能性があると言った。



ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。